



東濃地区の子育て・親育ち通信

家庭教育なう No.10

2023年12月発行

恵那県事務所振興防災課 家庭教育担当 大島
〒509-7203 恵那市長島町正家後田 1067-71

TEL 0573-26-1111(内線 209)

FAX 0573-25-7129

MAIL oshima-akihiro@pref.gifu.lg.jp

家庭教育「なう」は、恵那県事務所のHPからご覧いただくことができます。 QRコード→



土岐市 PTA 連合会 体験活動型

謎解きイベント「親子で謎解き体験！」

講師
日時
主催
参加者

「NAZOTOKI」永江 智也 氏 中川 拓也 氏

令和5年11月4日(土) 9:00~12:00

土岐市 PTA 連合会

土岐市小中学校 児童 生徒 保護者 (当日は80組、180人以上)

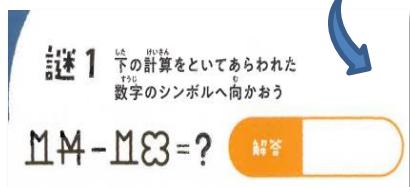
親子で「謎解き体験」楽しみながら、絆が深まる家庭教育学級

土岐市 PTA 連合会主催で、謎解きイベントが行われました。題して「謎解きイベント 親子で謎解き体験!」というもので、昨年に続いて2度目の開催です。今年は土岐市総合公園を舞台に、公園内に設置されている様々な陶芸作品をめぐりながら、「謎土岐研究所副所長」からの挑戦状に親子で力を合わせて答えるイベントです。

土岐市内の小学生4年生以上には、右の「謎解き BOOK」の冊子が事前に配付されました。11月4日(土)は、その開会式でした。好天の中、たくさんの親子、家族連れでにぎわうスタートとなりました。



冊子配付の様子(3年生以下の子)



謎は全部で6つ。これは、その第一問です。謎を解きながら公園内の陶刻を探して、さらなる謎解きへ。

謎解き期間は12月24日まで。この日参加できなくても、後日、土岐市総合公園にこの冊子をもって来れば謎解き体験が可能です。冊子は同公園内の事務所にもあります。



陶刻を親子で調査・手がかりは?



見事、謎解き完了!思わずピース



天候にも恵まれ、笑顔いっぱい

参加者にインタビュー

- ・今年で2回目です。昨年度、参加したところ、子どもが今年も参加したいといったので、挑戦しに来ました。
- ・久しぶりに休みがとれたので、父親として子どもたちと親子のふれあいができると思い参加しました。

【このよさを学びたい!】

・6つの謎を知力と体力を使って、親子で相談しながら解くという体験がたいへん興味深い活動です。知的好奇心が刺激され、親も子ども脳はフル回転、家族の絆は深まること間違いなしです。

恵那市 PTA 連合会 研究大会(研修会) 講演会

演題 ～障がい者から子どもに伝えたいこと～

講師 恩田 聖敬(おんだ さとし)さん(まんまる笑店社長【FC 岐阜前社長】)
 日時 令和5年10月7日(土) 10:00~11:30
 場所 恵那峡温泉ホテル ゆずり葉 3階会議室
 参加者 市内小中学校 PTA 会員、保護者、教育関係者など

(恩田さんの生きざまを)家に帰って子どもに伝えたい。【参加者の感想から】

恵那市 PTA 連合会では、同連合会の研究大会にて、FC 岐阜前社長の恩田聖敬さんをお迎えして、講演会を行いました。講師の恩田さんは、平成26年に FC 岐阜の代表取締役役に就任されました。当時 Jリーグ最年少社長として監督にラモス瑠偉さん、ゴールキーパーに元日本代表川口能活選手を獲得するなど、FC 岐阜チーム再建のために尽力されました。平成 27 年 11 月、ALS(筋萎縮性側索硬化症)の進行とともに、職務遂行に支障を来すようになったことを受け退任され、その後、平成28年「株式会社まんまる笑店」を設立、代表取締役社長に就任されました。現在は、ALS 患者としての思いや体験とともに、これまでのご経験の中で得た知識、考え方等を講演、執筆活動で発信していらっしゃいます。



お話に関き入る参加者のみなさん



内容

- 1) 全体会 会長挨拶 山本 徳仁 恵那市 PTA 連合会会長
 来賓挨拶 岡田 庄二 恵那市教育長
- 2) 講演会 「障がい者から子どもに伝えたいこと」
 (株)まんまる笑店社長(FC 岐阜前社長) 恩田 聖敬 さん
- 3) まとめ 質疑応答・お礼の言葉

恩田さんは、岐阜県高富町(現山県市)出身の生粋の岐阜人です。私生活では、2児の父親です。サービス業のプロとして、一人の父親として、紆余曲折の人生の中で様々な経験をされました。それらを今回のご講演の中で、ユーモアも交えながら発信していただきました。

講話内容の概要

- 1 自己紹介と ALS
- 2 私の生活
- 3 若者に本気で伝えたいこと
- 4 努力は必ず報われる
- 5 障害ってそもそもなに?
- 6 自分らしく生きる三原則
- 7 うさぎとかめ



写真は、恩田聖敬オフィシャルwebサイトより

なお、今皆様がお聞きの声は

まだ声の出る頃に私の声を録音して作った「ボイスター」と言うソフトによる、私の声にとっくりな合成音声です。

この技術のお陰で、本日も自分の声で皆様に話しかける事が出来ます。

テクノロジーの進歩に感謝です。

ALSは体じゅうの筋肉が萎縮する病気で、声も出せなくなります。でも知覚と思考は大丈夫です。今回のお話も機器を利用し、恩田さんの肉声で聴くことができました。



講話の最後にお礼の花束を受け取られる恩田さん。お礼の言葉を聞いているときに目で微笑まれた表情がとても素敵でした。

参加者の感想から

- ・恩田社長のとてもいい話が聞けて参加できて本当によかったと思います。家に帰り子供達や家族に YouTube を見せながら伝えましたが、できれば子供達にも恩田社長の直接の話を聞かせられたらいいなと思いました。
- ・恩田様のこれまでの人生について貴重なお話が聞け大変感動したのと、まだまだ自分には努力が足りないなあ、と勇気をいただきました。『じゃあ、どうする?』という前向きな発想で様々な難題を克服してこられた姿勢がとても印象的でした。参考になるワードやエピソードが沢山あってノートに書き留めきれませんでした。子供や家族にも今日の話を伝えたいと思います。ありがとうございます。
- ・強い言葉でした。どんな状況になっても私が私でいることに変わらない…自分らしく生きる三原則を子どもたちと話し合いたいと思いました。
- ・人生についての話、子どもにも自分にもあてはめて、大変参考になるお話でした。家に帰って、子どもに伝えたい!!と思っています。子育てで悩んでいたのも、その悩みも細かいことだなんて感じました。もっと大きな広い目と心をもって”人生”を楽しめるよう、自分も子育てを頑張りたいです。ありがとうございます。

【講演会に参加して(家庭教育推進専門職)】

- 今回の講演は、内容も素晴らしいですが、何よりALSというご病気と闘いながら、情報発信をし続ける恩田さんの生き様に触れられたことに感銘を受けました。こうした生き方を子どもたちにもきちんと伝えてやりたいです。そこに家庭教育としての意義が生まれてくるはずで。
- 恩田さんは言われます。「社会で人に迷惑をかけず、謙虚で、自分のやりたいことができる力を身につけてほしい。これは、自分が両親から教わった生きる上で大切なことです。同じように子どもたちに見せていきたい。」まさにこれが、家庭教育です。

多治見市立笠原小学校附属幼稚園 体験活動参加型 「これからが大切!!子どもの運動能力」

講師 小池 久司 先生 (オハナスポーツ オハナ体育教室)
日時 令和5年11月8日(水) 9:10~9:55
場所 多治見市立笠原小学校附属幼稚園 ホール
参加者 保護者18名、未就園児11名

「できなくてもいいから、がんばってみようよ」～運動の楽しさを学ぶ家庭教育学級～ 楽しく体を動かすポイント紹介で親子の絆づくりに!

笠原小学校附属幼稚園では、本年度第4回家庭教育学級としてオハナ体育教室より講師として小池久司先生をお招きして、「今必要な子どもの運動能力」について、伺いました。お話だけでなく、実際に、マット、跳び箱、鉄棒にふれながら「運動の苦手な子への声かけ」「運動のポイント」を学ぶことができました。未就園児の参加もあって、「こういうときには、こんな声かけを」と具体的に対応する場面を見ることができました。

大人は、久しぶりにマット上で前転、跳び箱で開脚跳び、鉄棒で逆上がり(前回り)に取り組みました。一緒に参加した未就園児は生まれて初めて体験する運動に果敢に挑戦したり、???となったり。初めての鉄棒、とび箱にどう反応するのか。保護者は、ときどきわくわくの瞬間でした。



家庭教育委員長福岡さんのお話



小池先生の声かけ実演



真剣に耳を傾ける保護者の皆さん



久しぶりの鉄棒、逆上がり



生まれて初めての前転 貴重な場面



体を動かすことは楽しい!!!
園長先生も笑顔で見守ります。

家庭学級委員長 福岡 成美さんに伺いました

「『みなさんが、参加したいなあ』と思うような家庭教育学級をしたいと考えていました。そのとき、お子さんが体操教室に通うようになってとても成長したことから、『親も体を動かすことを体験する機会を作ったら、多くの方に参加してもらえるのではないか。』『運動することの楽しさを感じ、そのコツをお子さんに伝えるのは親子のきずなづくりに役立ち、多くの方に関心をもってもらえるのではないか。』と考え、親が体操教室を体験できる取組を企画しました。」とのこと。

体験した方の感想

- ・子どもの運動についての考え方、教え方が分かりやすかったです。日常生活の中でも、子どもの運動への経験を増やしていけたら良いなと思いました。とても楽しかったです。
- ・子どもが高い所に登った時、つい心配で親が手を出してしまいがちですが、見守ることも大切な運動能力を見極めることに繋がるのだと知りました。時と場合によりますが、親が手を差し伸べてばかりではいけないと思いました。

【このよさを学びたい!】

・同幼稚園の家庭教育学級長、福岡さんは少しでも多くの方に参加してほしいと「運動・体操」に着目されて、例年にない「運動体験の会」を企画運営されました。福岡さんの働きかけもあって体験活動は、得意な方も苦手な方も和気あいあいと楽しく活動できました。あっという間に時間が過ぎ、終わった後の参加者の表情がとてもさわやかでした。「体すごく柔らかかったけど、なにかやっているの?」など保護者同士の話も弾み、絆づくりの機会として最適でした。

<園や学校の家庭教育担当の保護者・先生へ>

「話そう!語ろう!わが家の約束」運動 啓発チラシ配布について~岐阜県からお知らせ

岐阜県家庭教育支援条例を知っていますか?

平成26年12月、子どもたちの健やかな成長に喜びを実感できる岐阜県の実現をめざして施行されました。
次のようなことが定められています。

行政、祖父母、地域住民、学校、事業者など、みんなで家庭教育を支えていきましょう。

家庭教育についての関心と理解を深め、実践に向けた意欲を高めるため、毎月第3日曜日と「8」のつく日を「家庭教育を実施する日」とします。

詳しくは岐阜県のホームページをご覧ください。

岐阜県 家庭教育

「話そう!語ろう!わが家の約束」実践カードや「家庭教育プログラム」「家庭教育啓発動画」などの関係資料を掲載しています。

岐阜県環境生活部環境生活政策課
問合せ先 〒500-8570 岐阜市数田町2-1-1 TEL.058-272-8752

話そう!語ろう! わが家の約束 実践カード このカードを使って実践してみましょう!

年 月 日
名前

わが家の約束をつくりましょう。

家庭教育を実施する日は毎月第3日曜日と「8」のつく日です。

わが家の約束宣言

月 日	/	/	/	/	/	/	/
曜 日							
約束を守りましたか?							

子どもから家族へのメッセージ 取り組んだ感想や家族への思いを書きましょう。

家族から子どもへのメッセージ 子どもへの励ましの言葉等をお願いします。

学校で楽しかったことや がんばったことも家族に話しましょう。/

清流の国ぎふ

子どもたちの

健やかな成長

のために

岐阜県は、「話そう!語ろう!わが家の約束」運動を推進しています。

岐阜県

12月には、上記のような「令和5年度啓発チラシ」が県内中学校宛に県環境生活政策課より配布されます。すでに7月には県内幼・保・こども園・小学校・義務教育学校・特別支援学校の幼稚部と小学部(全保護者対象)には配布されました。

家庭教育学級の年間計画を拝見しますと、冬休みの長期休業日を利用し、「話そう!語ろう!わが家の約束」運動、または、それに準ずる家庭と学校をつなぐ在宅型の家庭教育学級に取り組まれる園や学校が多くあります。それぞれの取組に合わせ、チラシの配布や実践カードの記入など、有効にご活用ください。

「令和5年度家庭教育学級実施調査」及び「話そう!語ろう!わが家の約束」運動への取組状況調査のお願い

県内の公立小中学校・幼(稚・児)園・こども園における家庭教育学級の実施状況について、今後の県の施策に反映していく目的で、各市を通じて、調査を行います。県環境生活政策課より各園・学校に調査の依頼があると思います。ご協力をよろしくお願いいたします。

今年度は、5月に新型コロナウイルス感染防止対策が緩和されました。そのため、これまで実施を見合わせていた家庭教育学級を再開したり、内容を工夫したりして開催されています。給食試食会や、サロン型の講演会活動など、ふれあい、つながりを大切にした活動が実施されていると思います。今年度の実施状況についてご回答をお願いします。